

診ているのは、  
見えない空気です。



きれいにしよう日本の空を

**日本空調サービス株式会社**

**Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.**

2020年3月期  
決算説明資料

2020年6月

東証1部・名証1部：4658

I. 日本空調グループの概要と強み

II. 2020年3月期業績ハイライト

III. 2019中期5カ年経営計画

IV. 株式情報

# 建物設備メンテナンス

技術系従業員：2,502名

拠点：47都道府県＋海外7カ国

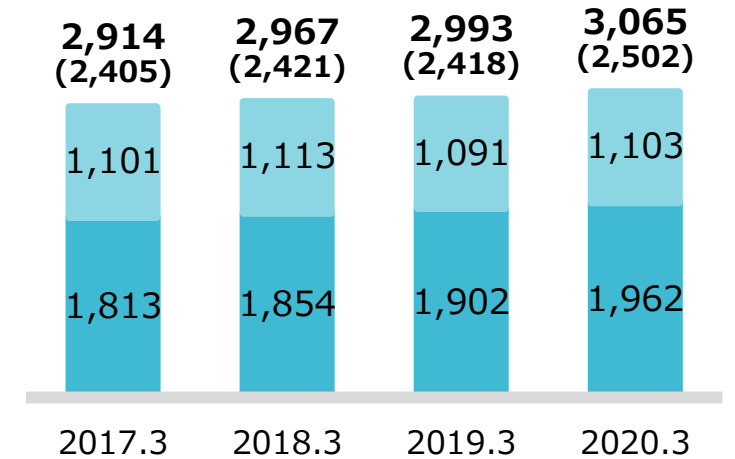
会社概要		
設立	1964年4月28日	
本社	愛知県名古屋市 名東区照が丘239-2	
資本金	1,139百万円	
事業内容	総合建物設備 メンテナンスサービス業	
従業員数	連結 3,065名	単体 2,123名
売上高	連結 496億円	単体 354億円
拠点数	国内 82拠点	海外 11拠点

※従業員数は2020年3月末現在の数値となります。  
 ※売上高は2020年3月期の数値となります。  
 ※拠点数は2020年5月末現在の数値(連結・住所ベース)となります。

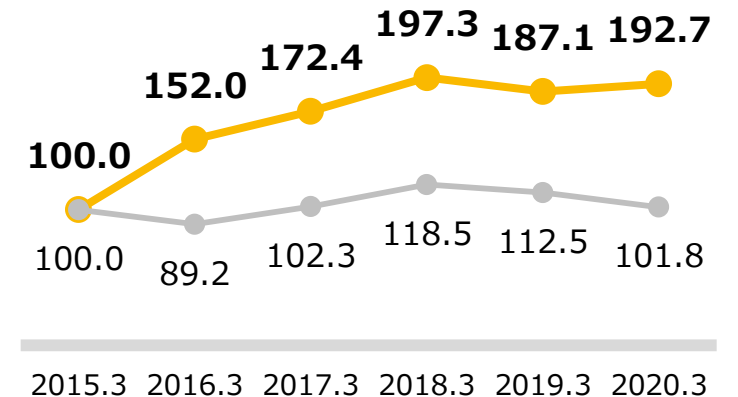
株式情報	
株価	730円
時価総額	257億円
配当金	1株当たり25円
配当性向	50.3%
配当利回り	3.42%
株主数	6,742名
PER	14.70倍 (EPS : 49.67円)
PBR	1.42倍 (BPS : 513.78円)
ROE	10.8%

※株価及び時価総額は2020年5月26日終値を使用しております。  
 ※配当金、配当性向及び配当利回りは2021年3月期配当予想値を使用しております。  
 ※株主数は2020年3月末現在の数値となります。  
 ※EPSは2021年3月期予想値、BPS及びROEは2020年3月期実績値を使用しております。

■ 従業員数 (名) ■ 正社員 ■ 平均臨時雇用人員 (内、技術系従業員数)



■ 株主総利回り (%) ● 当社(配当込み) ● 配当込みTOPIX



※株主総利回りは2015年3月期を基準(100.0)として算出しております。

**全てのステークホルダーの幸せ向上**



**社会的価値創造**

**経営理念**

お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、  
技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する。



**経済的価値創造**

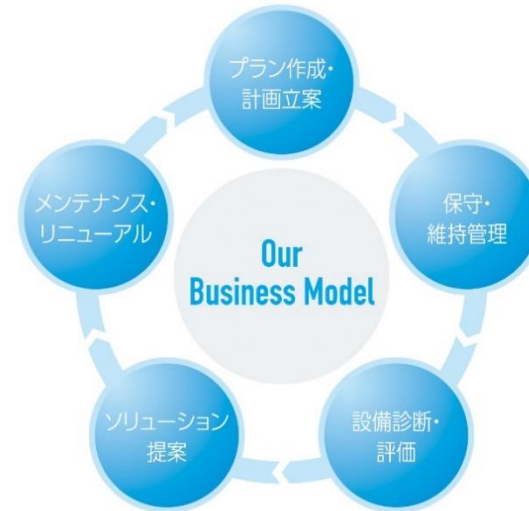
## ■ 社会的価値創造

### 経営理念

お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、  
技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する。

当社グループは、建物設備のメンテナンス・維持管理、設備・環境診断、ソリューション提案を行うサービス部門を中核に、リニューアル工事を主体とする設備工事部門を併せ持つ、建物設備のトータルサポート企業です。中核事業のメンテナンスサービスで培った技術力を生かし、お客様の立場に立ったきめ細かなサービスを提供します。

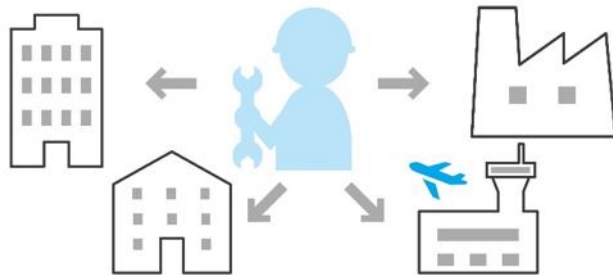
## ■ ビジネスモデル



## ■ 事業内容(動画196sec)

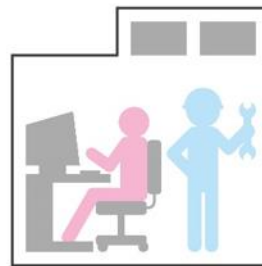
<https://www.youtube.com/watch?v=iOv4Azu87ZI&feature=youtu.be>

### PM 保守 Preventive Maintenance



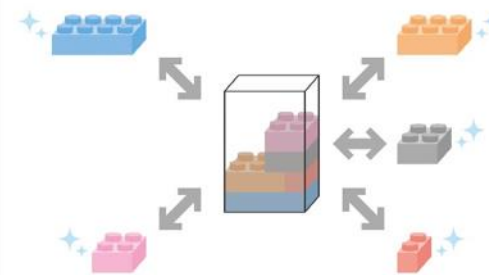
確かな技術力で“万が一”を未然に防ぐ、  
高品質メンテナンス。

### FM 保守・管理 Facility Management



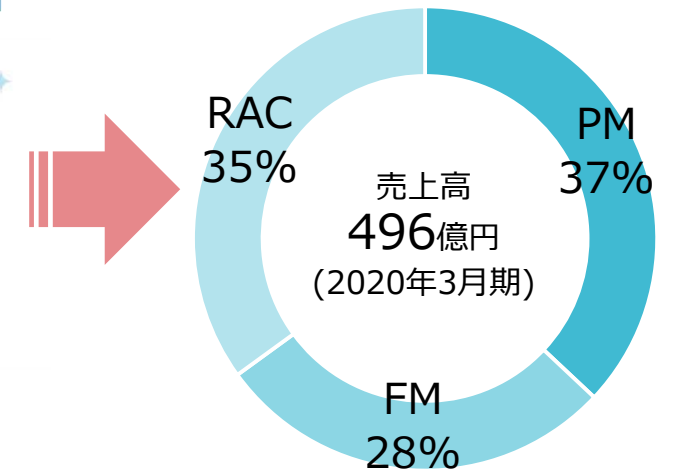
求められる環境を維持するために、  
常に見守ることも私たちの技術。

### RAC 設計・施工 Reform and Construction

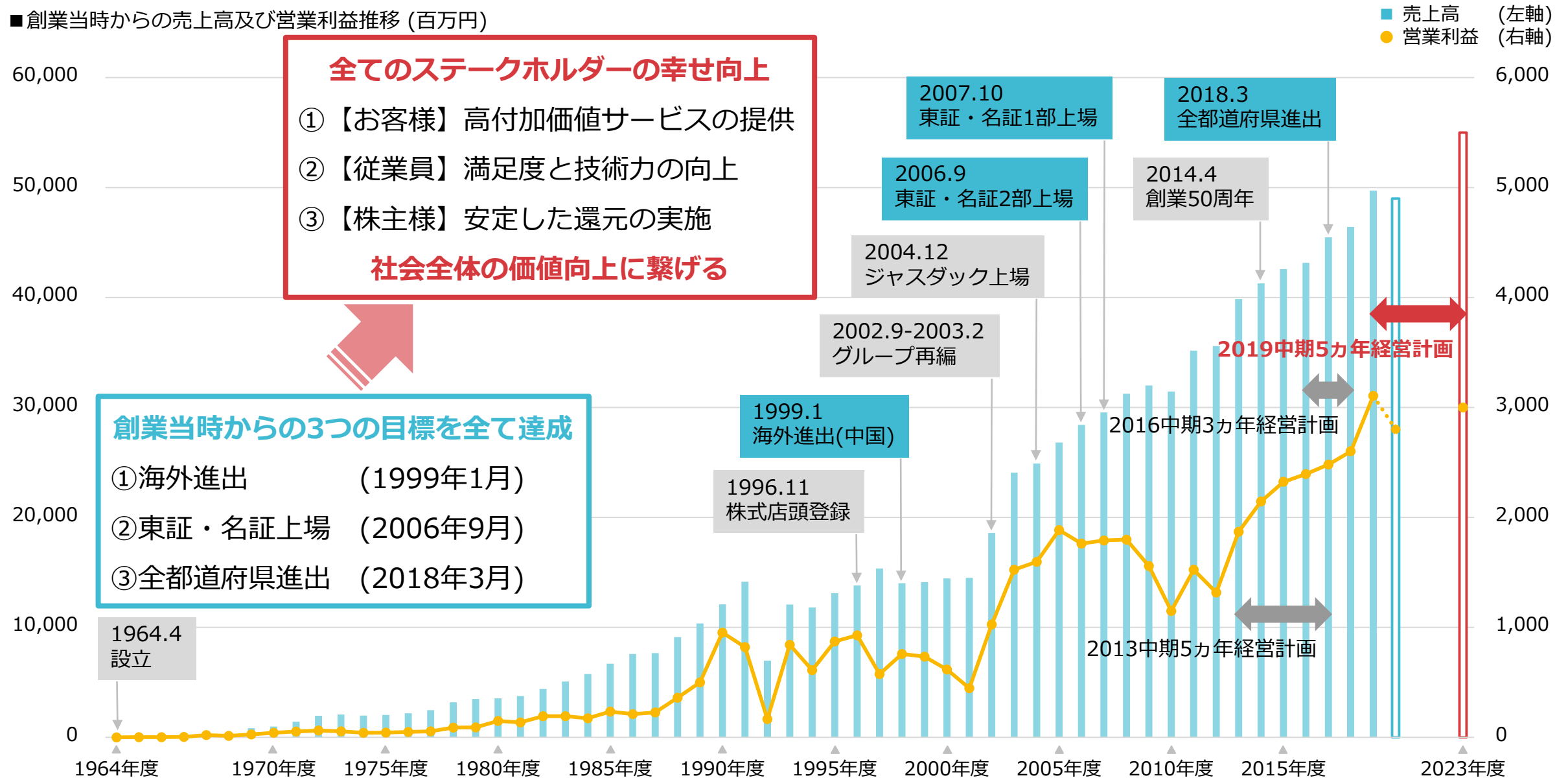


あらゆるビルの快適環境創造に、  
いつも最適なお提案と施工を。

## ■ 事業部門別売上高構成



■ 創業当時の売上高及び営業利益推移 (百万円)



※1969年度(第6期)及び1992年度(第30期)は6カ月の変則決算です。

※1996年11月の株式店頭登録以降は外部監査を受けております。

## ■拠点情報

- ★国内では2018年3月に全都道府県進出を達成し、全国展開企業との取引拡大を推進
- ★海外では日系製造工場を主要顧客とし、**新たな市場とすべく積極的な新規顧客開拓を推進**
- ★2024年3月期に**海外営業利益比率5%**(2020年3月期同比率：▲2.9%)を目指す

## 日本

- ・日本空調サービス(株)
- ・日本空調システム(株)
- ・(株)日本空調北陸
- ・(株)日本空調東北
- ・日空ビジネスサービス(株)
- ・イーテック・ジャパン(株)

売上高**704**百万円(①+②)

### 中国(蘇州)

- ①1999年1月(設立)  
蘇州日空山陽機電技術有限公司  
(支店：上海・杭州・無錫・南通)

### 中国(上海)

- ②2011年10月(設立)  
上海日空山陽国際貿易有限公司

### バングラデシュ

- ③2015年8月(設立)  
NACS BD Co., Ltd.

### ベトナム

- ⑧2017年11月(出資)  
NACS ENGINEERING VIETNAM CO., LTD.

### ミャンマー

- ⑨2017年11月(出資)  
NACS Engineering Myanmar Co., Ltd.

### タイ

- ⑥2016年6月(設立)  
NACS TPS ENGINEERING CO., LTD.

売上高**95**百万円(⑥)

### マレーシア

- ⑦2017年3月(出資)  
NIPPON KUCHO SERVICES (M) SDN. BHD.

その他海外売上高**18**百万円  
(③+⑦+⑧+⑨)

### シンガポール

- ④2015年11月(子会社化)  
Evar Air-conditioning & Engineering Pte Ltd
- ⑤2016年3月(設立)  
NACS Singapore Pte. Ltd.

売上高**229**百万円(④+⑤)

売上高  
**48,628**百万円  
(国内)

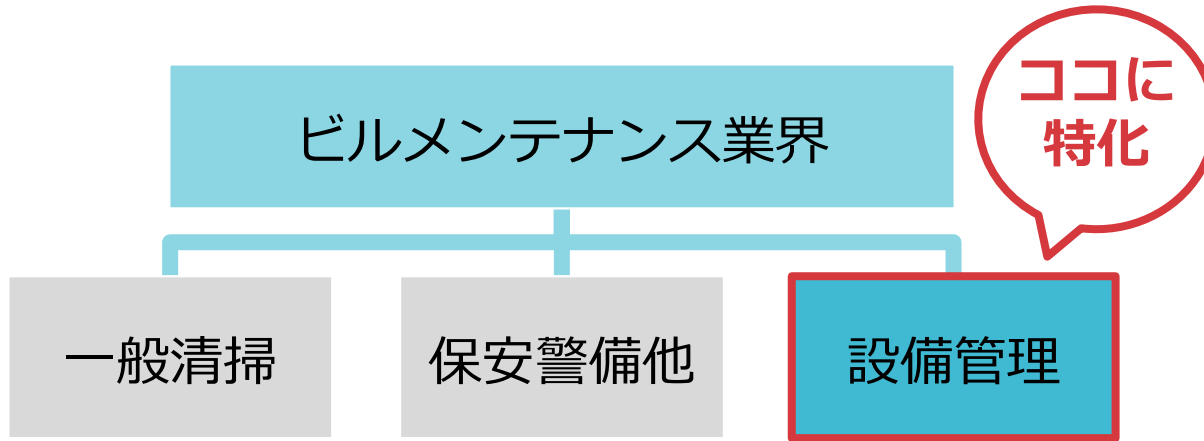
海外  
**9社11**拠点

国内  
**6社82**拠点

※拠点情報は2020年5月末現在で表記しております。  
※国内及び海外売上高は2020年3月期の数値となります。



## ■ビルメンテナンス業界の構造



## ■ビルメンテナンス業界における同業他社との比較

	時価総額 (億円)	PER PBR (倍)	ROE (%)	売上高 営業利益 (億円)	営業利益 率(%)	平均 年間給与 (万円)	平均年齢 (歳)
A社	1,504	15.04 1.91	12.3	3,085 160	5.2	460	46.0
B社	678	14.75 1.31	8.9	1,063 68	6.4	342	52.6
<b>当社</b>	<b>257</b>	<b>14.70 1.42</b>	<b>10.8</b>	<b>496 31</b>	<b>6.3</b>	<b>574</b>	<b>38.9</b>
C社	60	6.04 0.37	6.3	368 20	5.6	361	51.9

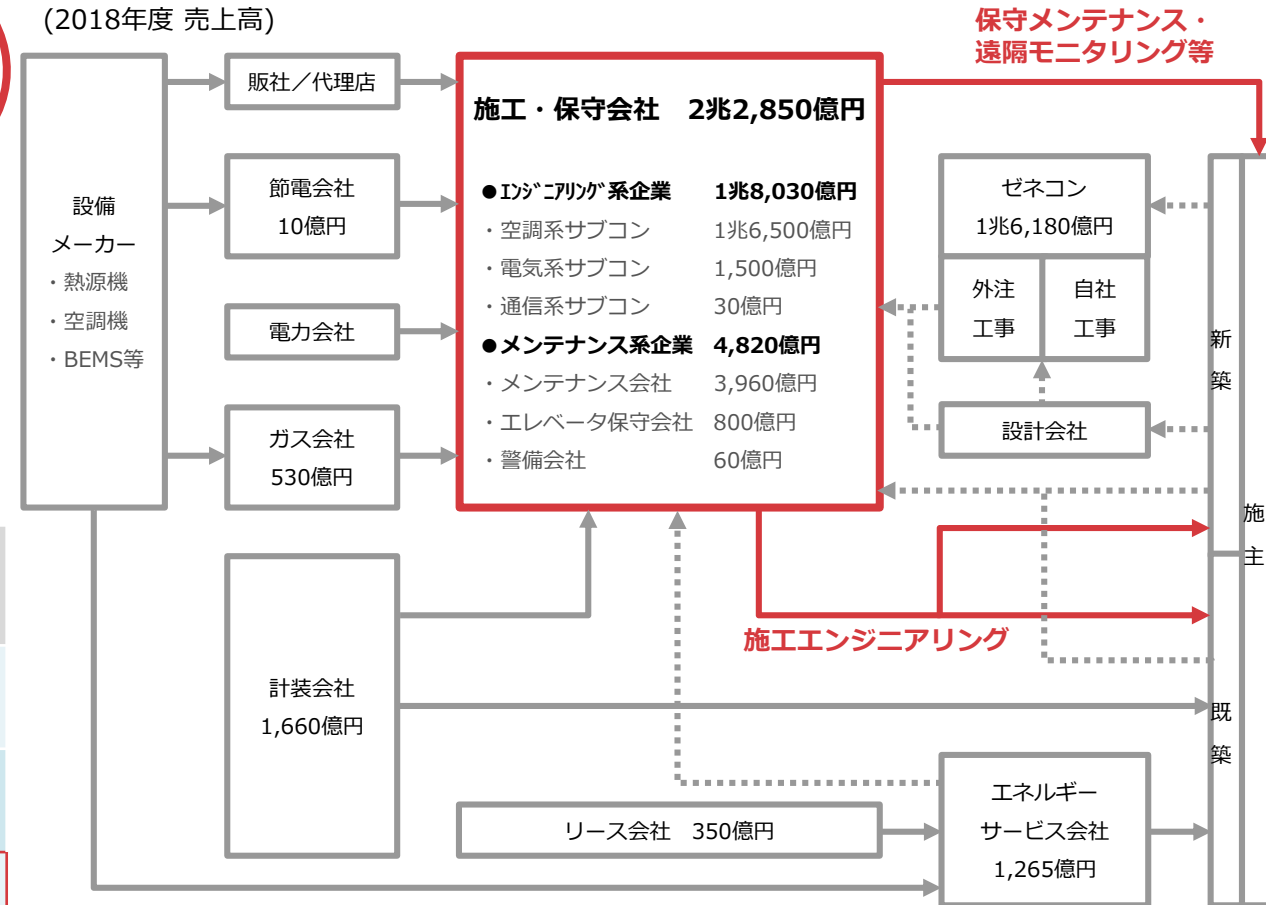
※各社の時価総額は2020年5月26日終値を使用しております。

※各社のEPSは2020年度予想値、BPS、ROE、売上高、営業利益、営業利益率は2019年度実績値、平均年間給与、平均年齢は2018年度実績値を使用しております。

## ■空調・熱源システム市場の構造実態

(施工・保守会社を中心とした案件受注経路・ビジネス提供フロー)

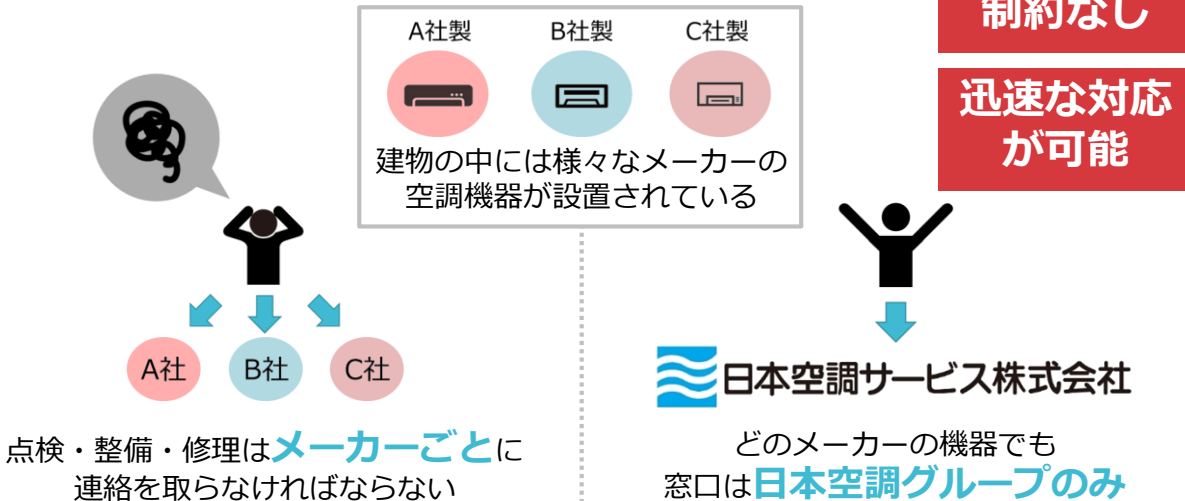
→ ビジネス提供フロー  
→ 案件受注経路



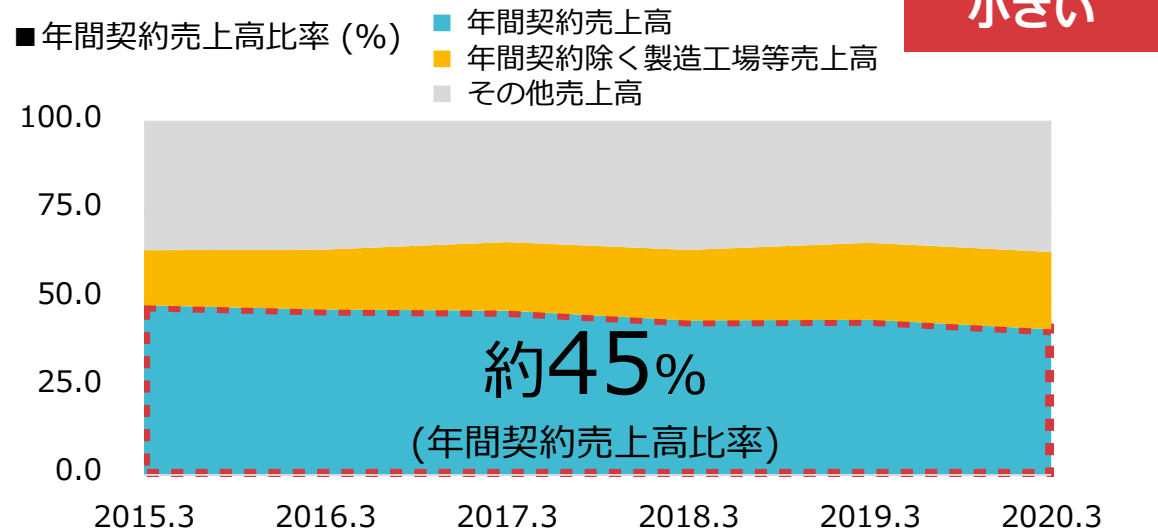
**空調・熱源システム市場の約7割が既築案件であり  
1.5兆円程度が当社のターゲットと推測**

※(株)富士経済「2020年版 空調・熱源システム市場の構造実態と将来展望」を参考に当社作成。  
※上図は冷設系(コールドチェーン)を除いております。

## 1 独立系企業グループのためメーカー問わず対応可能 様々な建物設備のメンテナンスを自社対応できる

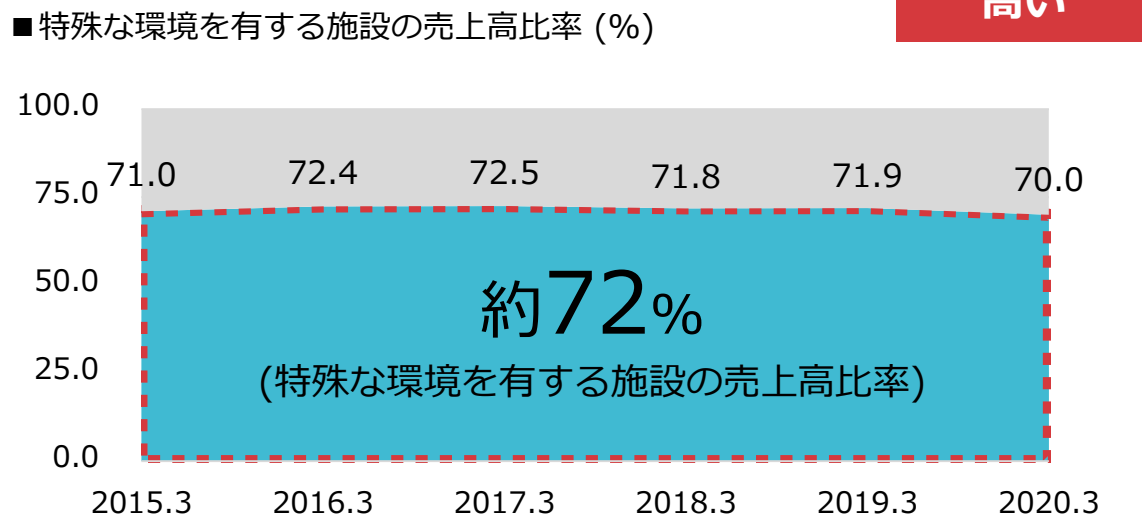


## 2 売上高の半分近くが安定した年間契約 多種多様な製造工場等の受託により景気リスク分散



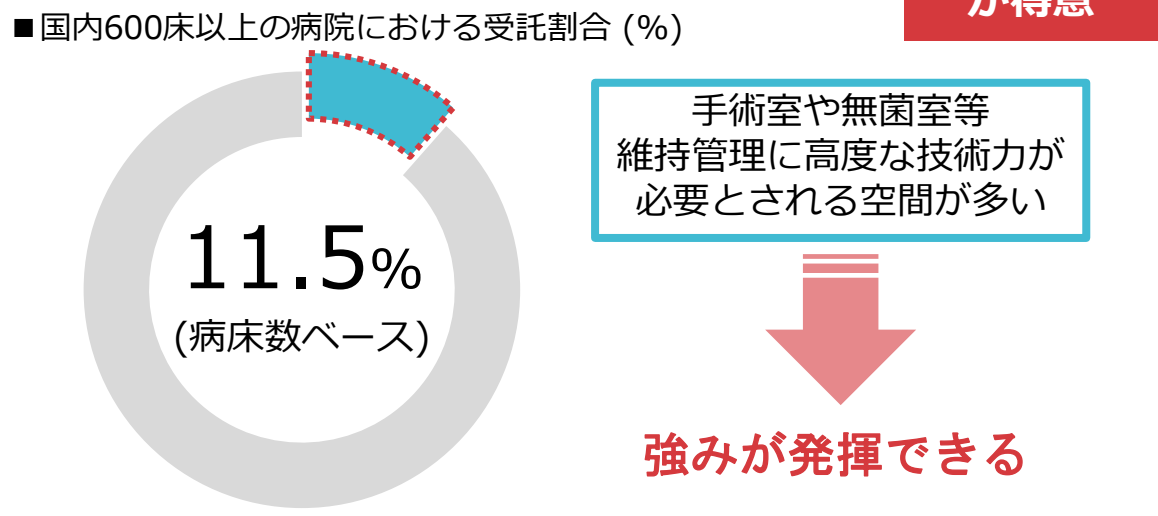
**景気影響が小さい**

## 3 維持管理に高度な技術力を要する施設の比率が高い



**参入障壁が高い**

## 4 国内600床以上の病院におけるシェアが約12%



**大規模病院が得意**

※特殊な環境を有する施設は「病院及び研究施設」「製造工場等」「その他の特殊な施設」を指しております。

※2020年3月末現在、600床以上の病院における当社グループの受託割合です。(当社調べ)

■ 特殊な環境を有する施設への傾注の理由

オフィスビル



会議室の空調機器が故障



我慢してその部屋を使う  
別の部屋を使う

代替可、緊急性が低い



病院



手術室の空調機器が故障



手術室が使えない  
手術ができない



製造工場



製造工場の空調機器が故障



製品の品質不良  
製造ラインの停止



⚠ 代替不可、緊急性が高い

維持管理に高度な技術力が必要となる

■メンテナンスサービス業務例と特徴

中央監視業務



日常測定業務



定期メンテナンス業務



ソリューション提案



環境診断業務



消毒・除染業務



「この作業をいくらでできるか？」

ではなく

「こんな環境にできないか？」

「どうすれば改善できるか？」

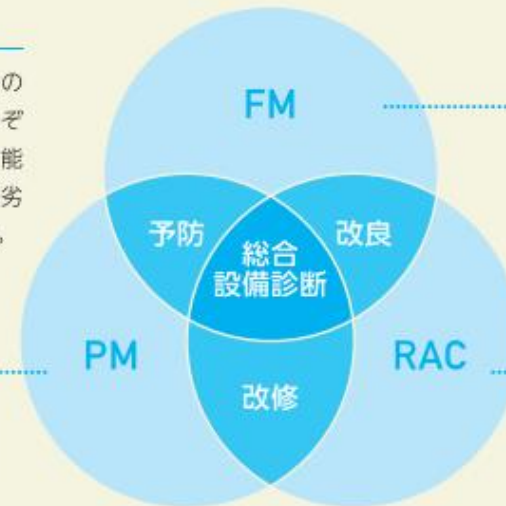
というお客様のニーズを引き出しそれに応える

関連業務／設備診断

建物設備のPM・FM・RACの3つの部門を兼ね備える私たちは、それぞれの部門で蓄積したデータや高性能機器を活用し、設備の機能や性能劣化についての設備診断を行います。

PM(保守部門)

- 定期的な保守…維持
- 機器洗浄修理…回復
- 計画的な整備…延命



FM(保守・管理部門)

- 熱源運転の適正管理
- 適正な温度設定
- 運転時間適正管理
- 不要設備の停止
- 照明の管理

RAC(設計・施工部門)

- 省エネ装置の導入(更新工事)
- 全体空調から部分空調へ(改修工事)

■バリデーション・トータルサポート

### バリデーション・トータルサポート

医薬品及び医薬部外品の  
製造管理及び品質管理の基準

GMPに則り、要求される最適な環境を  
維持するための支援を実施する

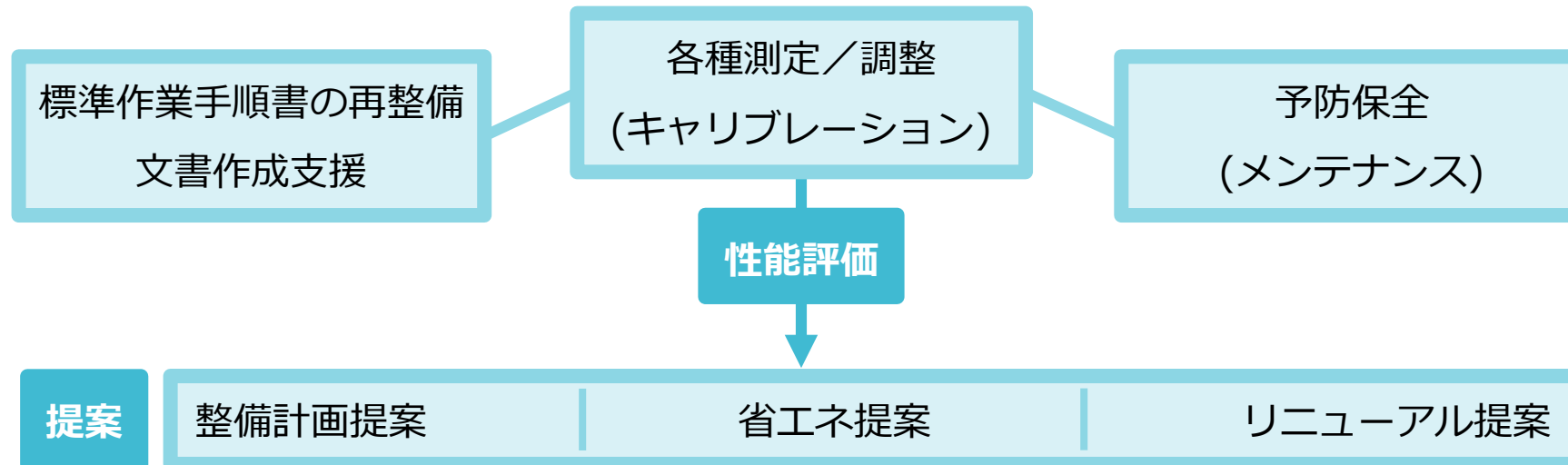
医薬品等における製造環境の  
適格性検証及び文書化の支援



GMPの国際基準準拠により  
バリデーション需要拡大

医薬品製造施設における

ワンストップサービスの実現を目指す



医薬品製造施設を**将来の主軸商品**としていくためのツール

I. 日本空調グループの概要と強み

**II. 2020年3月期業績ハイライト**

III. 2019中期5カ年経営計画

IV. 株式情報

売上高 : **+7.1%**

営業利益 : **+19.4%**

最終利益 : **+5.9%**

※数値は前年同期比増減率です。

※最終利益は親会社株主に帰属する当期純利益を指しております。

### ■ 2020年3月期経営成績

(百万円、%)

連結 (累計期間)	2018年3月期			2019年3月期			2020年3月期		
	金額	売上高 比率	前年同期比 増減率	金額	売上高 比率	前年同期比 増減率	金額	売上高 比率	前年同期比 増減率
売上高	45,467	100.0	+5.4	46,389	100.0	+2.0	49,675	100.0	+7.1
メンテナンスサービス売上高	30,792	67.7	+0.3	31,962	68.9	+3.8	32,267	65.0	+1.0
リニューアル工事完成工事高	14,675	32.3	+17.9	14,427	31.1	▲1.7	17,407	35.0	+20.7
売上総利益	8,224	18.1	+5.4	8,547	18.4	+3.9	9,371	18.9	+9.6
販売費及び一般管理費	5,743	12.6	+6.1	5,946	12.8	+3.5	6,265	12.6	+5.4
営業利益	2,481	5.5	+3.6	2,600	5.6	+4.8	3,105	6.3	+19.4
経常利益	2,579	5.7	+3.9	2,725	5.9	+5.7	3,215	6.5	+18.0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,561	3.4	+4.2	1,792	3.9	+14.8	1,899	3.8	+5.9

### ■ 2020年3月期経営成績について〔売上高は9期連続、営業利益は6期連続過去最高〕

- ①売上高：主に製造工場及び病院におけるリニューアル工事等の増加、太陽光パネル設置工事の増加、小中学校へのエアコン設置工事の増加等が寄与し増加
- ②売上総利益率：メンテナンスサービスと比較して利益率の低いリニューアル工事の売上高比率が増加したが、完成工事総利益率の改善により増加  
(メンテナンスサービス売上総利益率：21.0%、完成工事総利益率：14.9%)
- ③販売費及び一般管理費：主に人件費の増加等により増加
- ④営業利益／経常利益：売上総利益の増加等により増加
- ⑤親会社株主に帰属する当期純利益：営業利益の増加等により増加

※2011年3月期よりセグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。



### ■ 2020年3月期業績予想の達成率

(百万円、%)

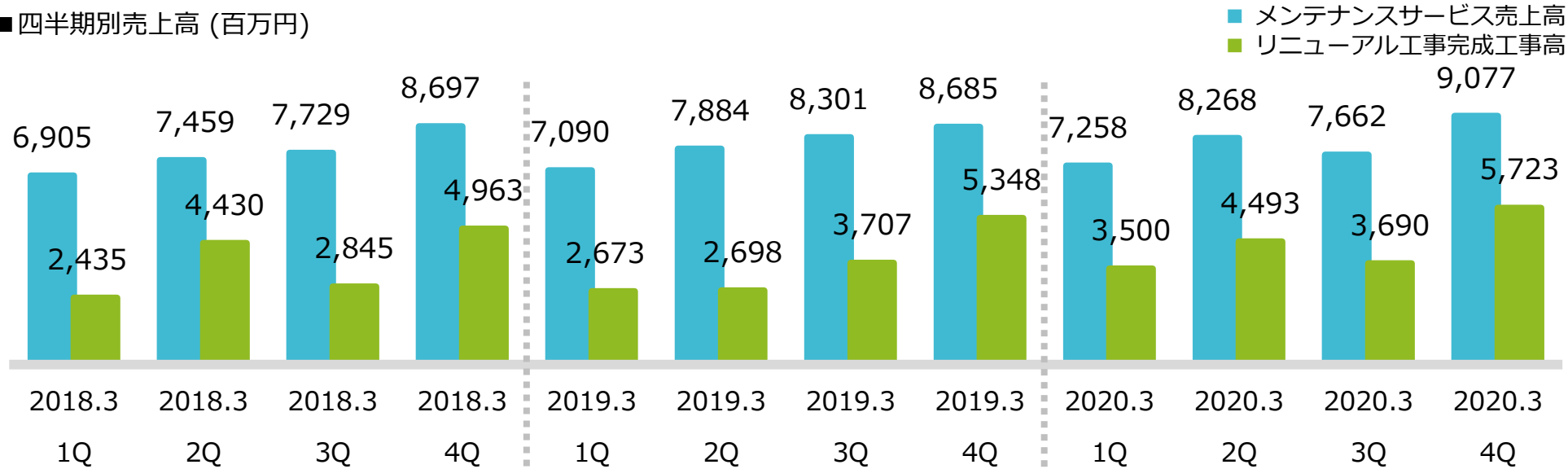
連結 (累計期間)	2018年3月期			2019年3月期			2020年3月期		
	4Q 金額(実績)	4Q 金額(予想)	4Q時点 達成率	4Q 金額(実績)	4Q 金額(予想)	4Q時点 達成率	4Q 金額(実績)	4Q 金額(予想)	4Q時点 達成率
売上高	45,467	44,000	103.3	46,389	48,000	96.6	49,675	48,000	103.5
メンテナンスサービス売上高	30,792	31,500	97.8	31,962	33,000	96.9	32,267	33,000	97.8
リニューアル工事完成工事高	14,675	12,500	117.4	14,427	15,000	96.2	17,407	15,000	116.1
売上総利益	8,224	7,970	103.2	8,547	8,500	100.6	9,371	8,650	108.3
販売費及び一般管理費	5,743	5,570	103.1	5,946	6,000	99.1	6,265	6,000	104.4
営業利益	2,481	2,400	103.4	2,600	2,500	104.0	3,105	2,650	117.2
経常利益	2,579	2,500	103.2	2,725	2,600	104.8	3,215	2,750	116.9
親会社株主に帰属する当期純利益	1,561	1,500	104.1	1,792	1,600	112.1	1,899	1,750	108.5

### ■ 2020年3月期業績予想の達成率について〔売上高、営業利益ともに予想を上回る達成率〕

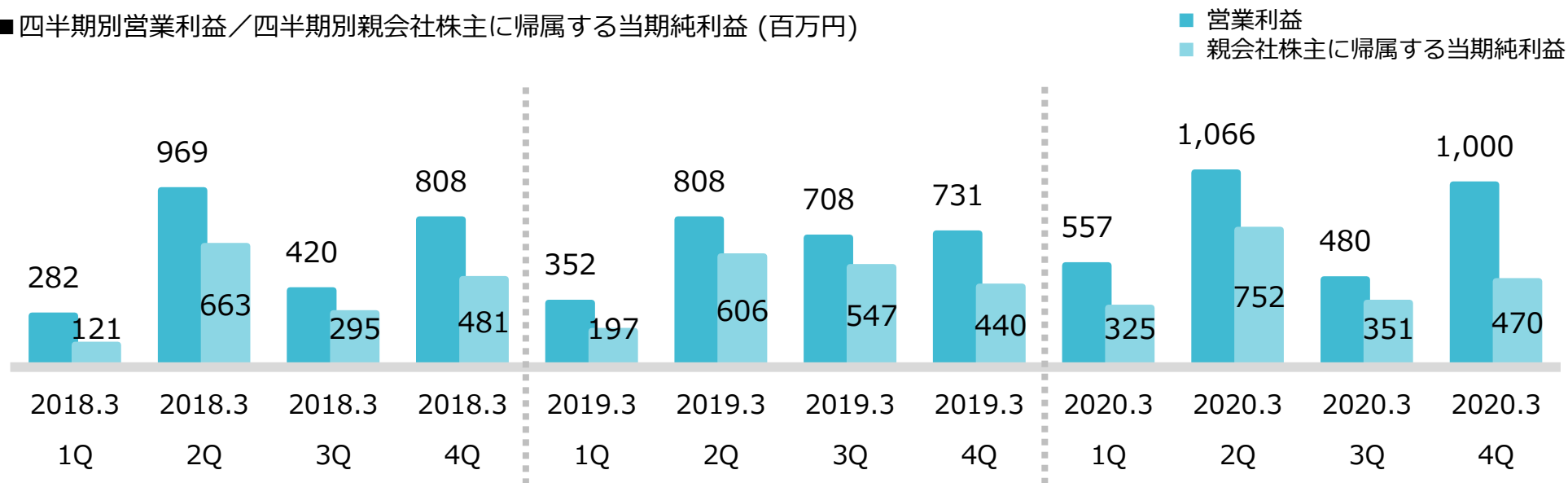
- ①売上高：メンテナンスサービスは予想を下回った(▲2.2%)ものの、リニューアル工事の増加(+16.1%)により予想を3.5%上回る達成率
- ②売上総利益：売上高の増加及び完成工事総利益率の改善等により予想を8.3%上回る達成率
- ③販売費及び一般管理費：主に人件費の増加等により予想を4.4%上回る達成率
- ④営業利益／経常利益：売上総利益の増加等により予想を営業利益が17.2%、経常利益が16.9%上回る達成率
- ⑤親会社株主に帰属する当期純利益：2019年3月期にあった税負担減少要因が無くなったが、売上総利益の増加等により予想を8.5%上回る達成率

※2011年3月期よりセグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。

■ 四半期別売上高 (百万円)



■ 四半期別営業利益／四半期別親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)

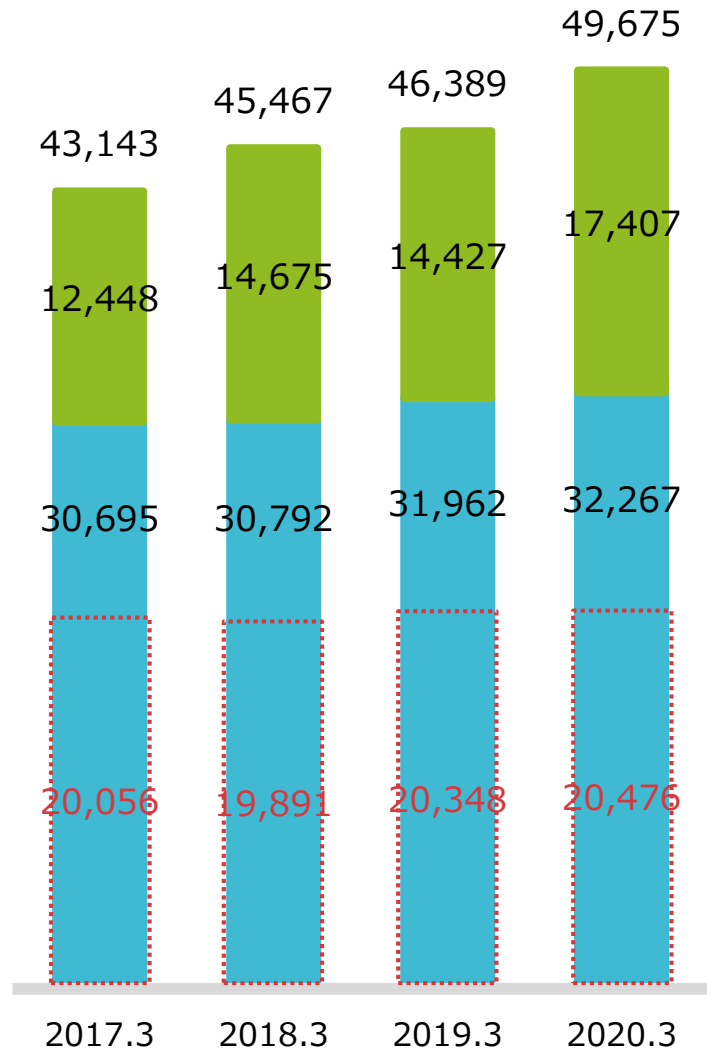


■ 前年同四半期比(4Q)

- ①売上高  
+766百万円  
+5.5%
- ②メンテナンスサービス売上高  
+391百万円  
+4.5%
- ③リニューアル工事完成工事高  
+374百万円  
+7.0%
- ④営業利益  
+269百万円  
+36.9%
- ⑤営業利益率  
5.2% ⇒ 6.8%  
+1.6%pt
- ⑥親会社株主に帰属する  
当期純利益  
+29百万円  
+6.7%

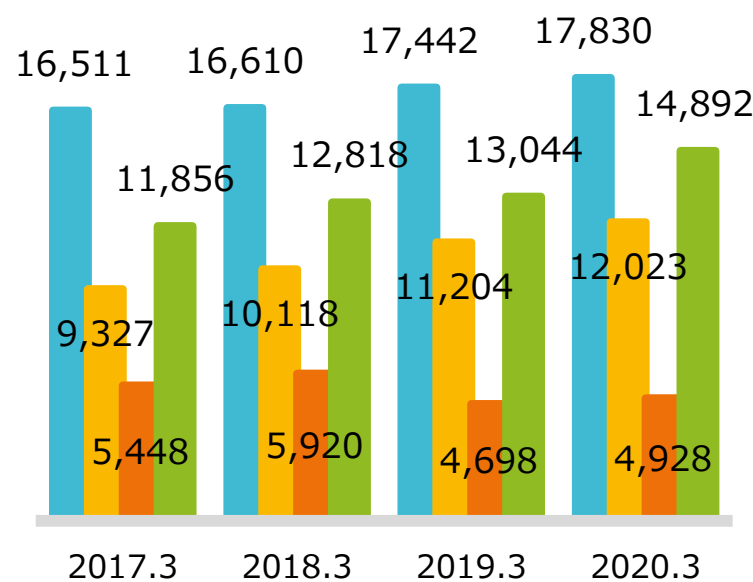
※2011年3月期よりセグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。

■売上高 (百万円) ■ メンテナンスサービス売上高 (点線枠内は年間契約売上高) ■ リニューアル工事完成工事高

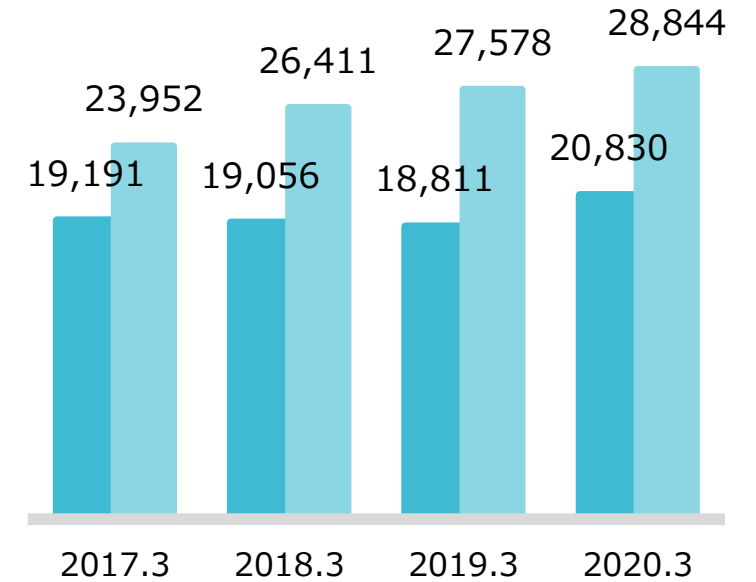


- ①病院及び研究施設、製造工場等は主にリニューアル工事及びスポットメンテナンスが好調
- ②その他の特殊な施設は主に太陽光パネル設置工事が増加
- ③オフィスビル等は主に小中学校へのエアコン設置工事が増加
- ④官庁は主に病院及び研究施設、オフィスビル等が増加
- ⑤民間は主に製造工場等、その他の特殊な施設が増加

■受託施設別売上高 (百万円) ■ 病院及び研究施設 ■ 製造工場等 ■ その他の特殊な施設 ■ オフィスビル等

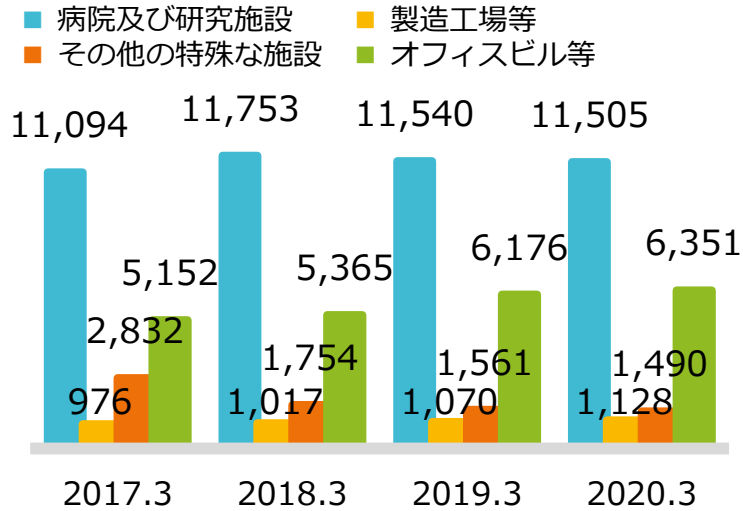


■官民別売上高 (百万円) ■ 官庁 ■ 民間

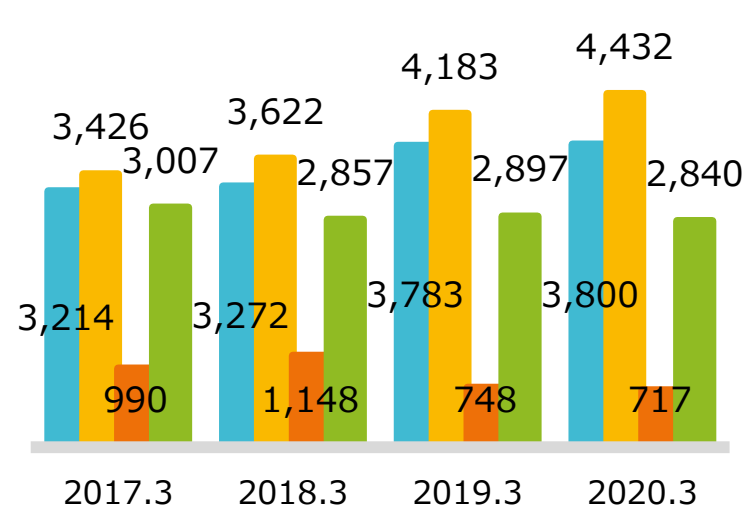


※2011年3月期よりセグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。

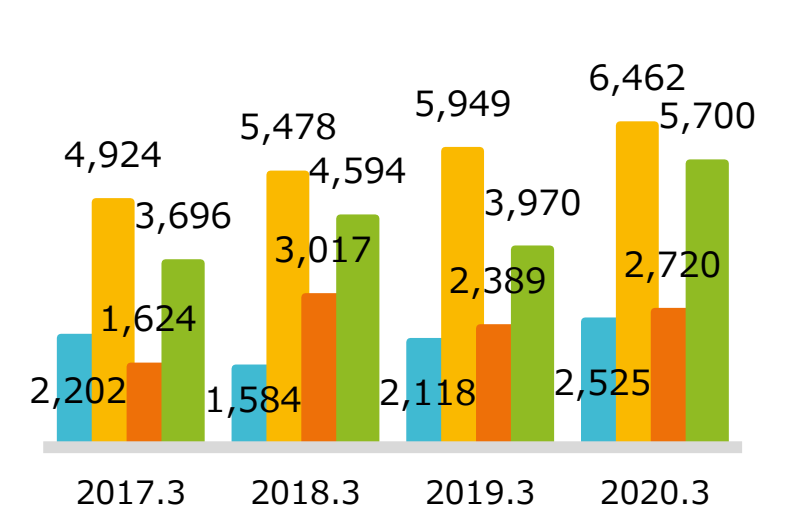
■ 受託施設別年間契約売上高 (百万円)



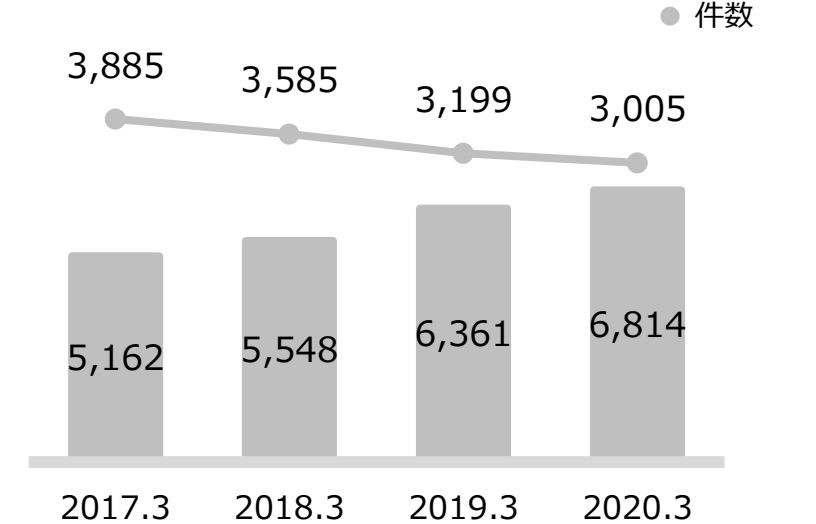
■ 受託施設別スポットメンテナンス他売上高 (百万円)



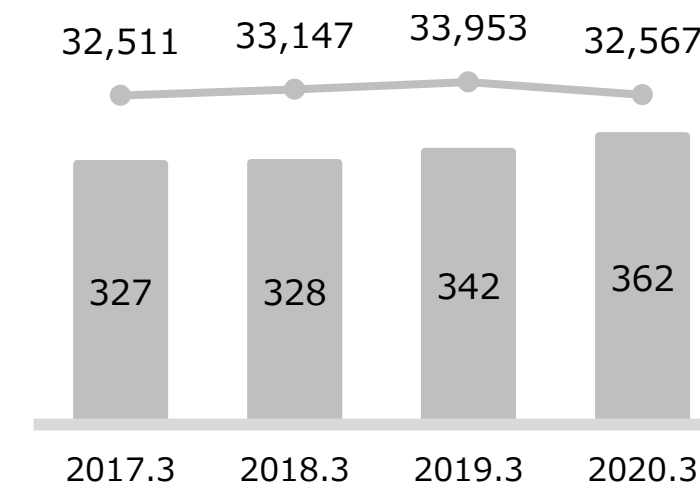
■ 受託施設別リニューアル工事完成工事高 (百万円)



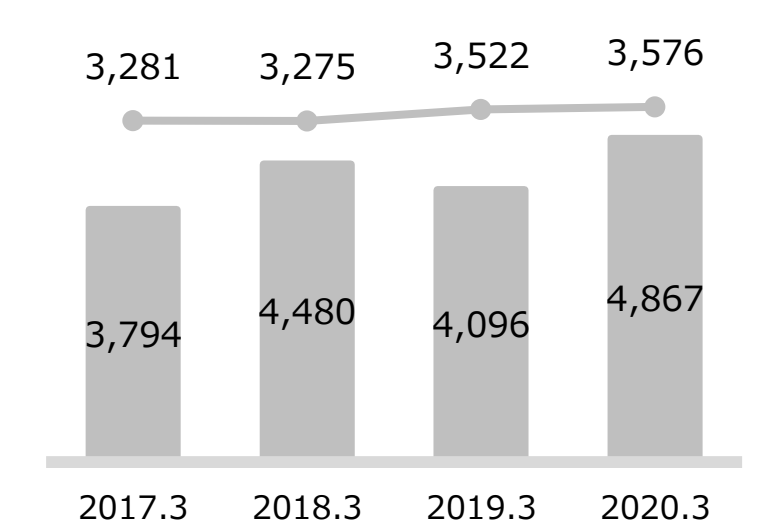
■ 年間契約平均単価 (千円) / 件数 (件)



■ スポットメンテナンス他平均単価 (千円) / 件数 (件)

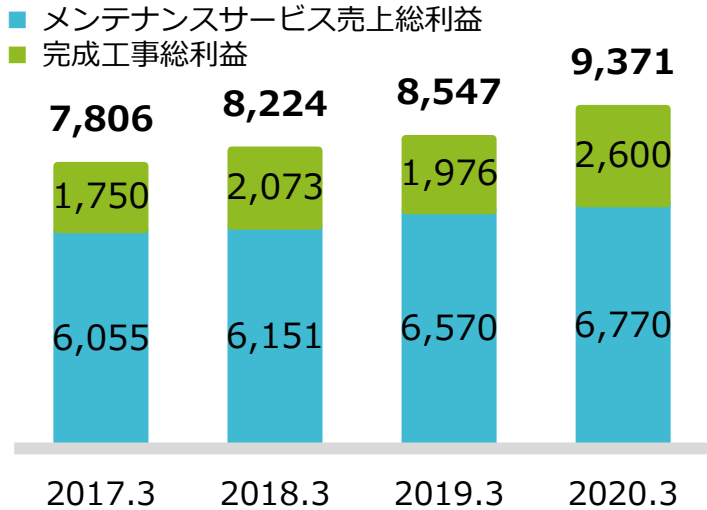


■ リニューアル工事平均単価 (千円) / 件数 (件)

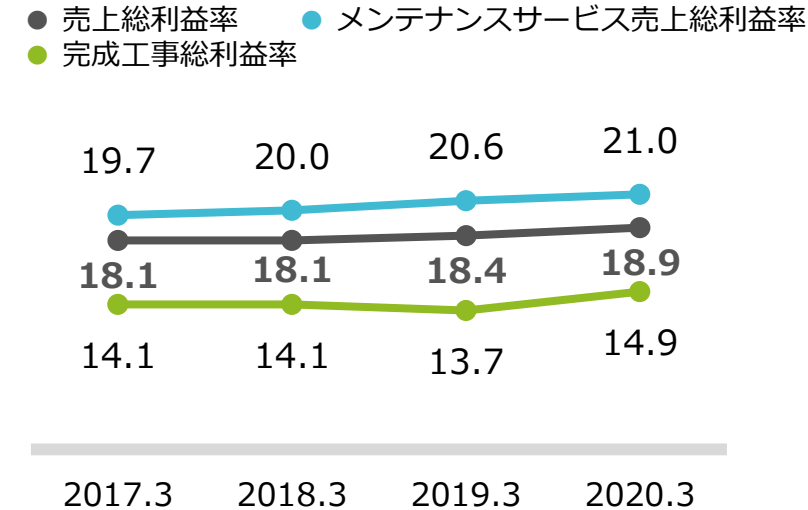


※2011年3月期よりセグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。  
 ※平均単価及び件数(工番ベース)は国内のみのカウントとしております。

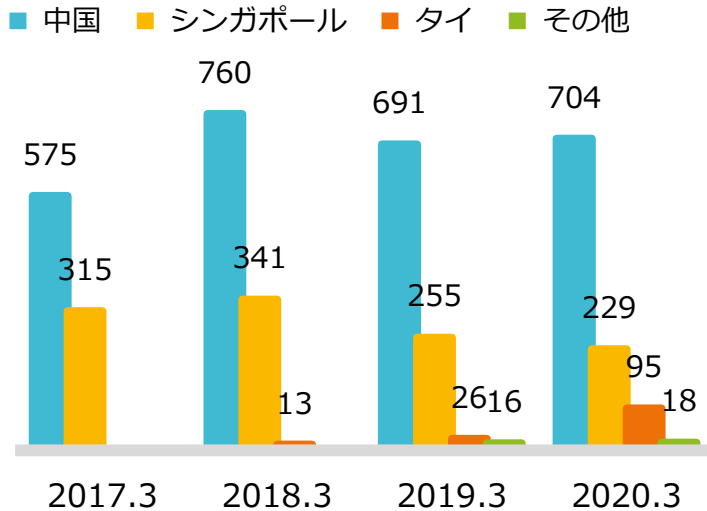
## ■ 売上総利益 (百万円)



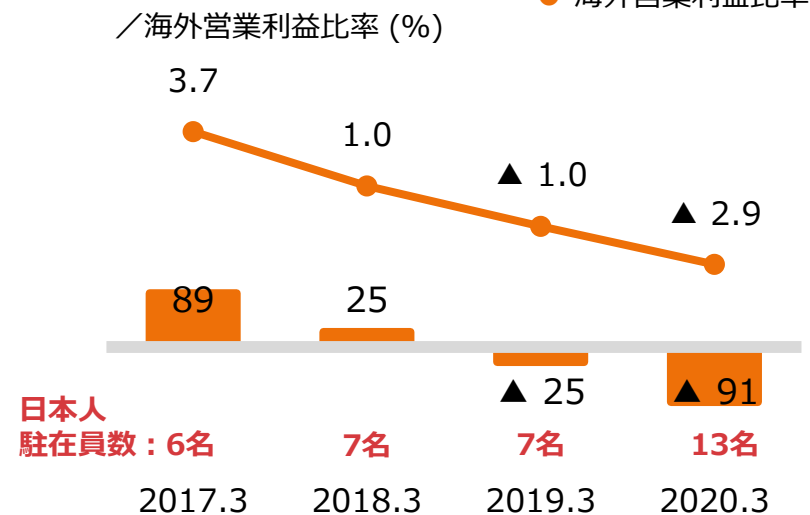
## ■ 売上総利益率 (%)



## ■ 地域別海外売上高 (百万円)



## ■ 海外営業利益 (百万円)



## ■ 売上総利益について

- ①メンテナンスサービス売上総利益率は安定的に推移
- ②完成工事総利益率の改善により、メンテナンスサービスと比較して利益率の低いリニューアル工事が増加したものの、全体の売上総利益率は増加

## ■ 海外業績について

- ①中国は順調に推移
- ②シンガポールは様々な環境変化により苦戦
- ③タイは省エネ等付加価値の高い提案に対するニーズが高まり着実に増加
- ④その他地域は現在種蒔きの段階
- ⑤日本人駐在員の人件費等により営業利益は赤字拡大だが、今後の更なる顧客拡大により収益化を目指す

※地域別海外売上高における「その他」はバングラデシュ、マレーシア、ベトナム、ミャンマーを指しております。  
 ※日本人駐在員数は各期3月末現在の数値となります。

海外進出の日系企業が抱える問題



**根本的な問題解決に繋がらない  
希薄な設備投資の繰り返し**

＜現状及び課題＞

対応内製化  
or  
ローカルサプライヤー利用

- × 設備劣化状況に無関心
- × ユーティリティ設備よりも製造設備を優先
- × 省エネ等の取り組みが後手
- × 製造負荷・要求に対して柔軟な対応ができない
- × コスト抑制にユーティリティ設備を活用できていない

＜当社の解決策＞

ソリューションカ  
&  
トータルサポートカ

- ライフサイクルコスト削減を目的とした改修計画提案
- 削減効果の期待できる省エネ提案
- 顧客ごとに要求されるニーズへの独自提案



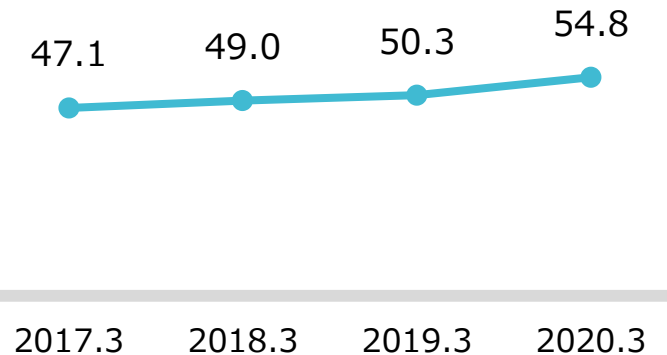
**ローカル企業との差別化及び顧客の満足度向上を図る**

### ■ 2020年3月期財政状態

(百万円、%)

連結 (期末現在)	2019年3月期		2020年3月期	
	金額	前期末比 増減率	金額	前期末比 増減率
流動資産	20,225	+6.5	19,593	▲3.1
固定資産	13,719	▲0.5	13,416	▲2.2
資産合計	33,944	+3.6	33,009	▲2.8
有利子負債	1,790	▲22.4	1,727	▲3.5
その他負債	14,746	+4.4	12,821	▲13.1
負債合計	16,537	+0.6	14,549	▲12.0
純資産合計	17,407	+6.5	18,459	+6.0

### ■ 自己資本比率 (%)

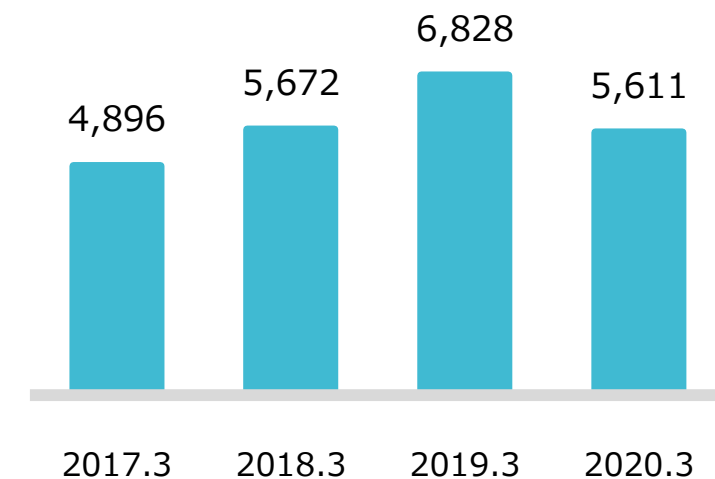


### ■ 2020年3月期キャッシュ・フローの状況

(百万円、%)

連結 (累計期間)	2019年3月期		2020年3月期	
	金額	前年同期比 増減率	金額	前年同期比 増減率
営業キャッシュ・フロー ※	2,655	▲8.4	107	▲95.9
投資キャッシュ・フロー	▲127	+82.2	▲302	▲138.3
財務キャッシュ・フロー	▲1,343	+9.2	▲1,032	+23.1
現金及び現金同等物の増減額	1,155	+59.1	▲1,216	▲205.3
現金及び現金同等物の期首残高	5,672	+15.9	6,828	+20.4
現金及び現金同等物期末残高	6,828	+20.4	5,611	▲17.8

### ■ 現金及び現金同等物期末残高 (百万円)



※2020年3月期の営業キャッシュ・フロー減少の主な要因は、外注費の支払方法を10月支払分より翌月現金払に変更したこと等に伴い、仕入債務の減少額が2,265百万円となり資金が減少したこと等によります。

### ■ 2021年3月期業績予想

(百万円、%)

連結 (累計期間)	2019年3月期			2020年3月期			2021年3月期(予想)		
	金額	売上高 比率	前年同期比 増減率	金額	売上高 比率	前年同期比 増減率	金額	売上高 比率	前年同期比 増減率
売上高	46,389	100.0	+2.0	49,675	100.0	+7.1	49,000	100.0	▲1.4
メンテナンスサービス売上高	31,962	68.9	+3.8	32,267	65.0	+1.0	32,000	65.3	▲0.8
リニューアル工事完成工事高	14,427	31.1	▲1.7	17,407	35.0	+20.7	17,000	34.7	▲2.3
売上総利益	8,547	18.4	+3.9	9,371	18.9	+9.6	9,000	18.4	▲4.0
販売費及び一般管理費	5,946	12.8	+3.5	6,265	12.6	+5.4	6,200	12.7	▲1.0
営業利益	2,600	5.6	+4.8	3,105	6.3	+19.4	2,800	5.7	▲9.8
経常利益	2,725	5.9	+5.7	3,215	6.5	+18.0	2,900	5.9	▲9.8
親会社株主に帰属する当期純利益	1,792	3.9	+14.8	1,899	3.8	+5.9	1,750	3.6	▲7.9

### ■ 2021年3月期業績予想について〔減収減益の予想〕

- ①新型コロナウイルス感染症の影響が上半期まで継続すると仮定し、当該影響考慮前売上高予想51,000百万円から2,000百万円の減収予想としている
- ②営業利益についても、当該影響考慮前は前年実績並みと想定していたが、売上高の減少及び人件費の増加等から300百万円の減益予想としている
- ③売上高のおよそ4割を占める年間契約について、大きな影響は出ないと見込まれる
- ④足元において、年間契約以外のスポットメンテナンスやリニューアル工事は作業延期や中止等の影響が出ている
- ⑤客先施設への訪問制限等により、新規営業が難しい状況である
- ⑥海外では各国の外出規制等により、事業活動の制限を受けている地域もある

※2011年3月期よりセグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。



I. 日本空調グループの概要と強み

II. 2020年3月期業績ハイライト

**III. 2019中期5カ年経営計画**

IV. 株式情報

# 「2019中期5カ年経営計画」

売上高：**55,000**百万円

営業利益：**3,000**百万円

EPS：**54**円

# 長期ビジョン「全てのステークホルダーの幸せ向上」

顧客

高付加価値サービスを提供する

従業員

満足度と技術力を高める

株主

安定した還元を実施する

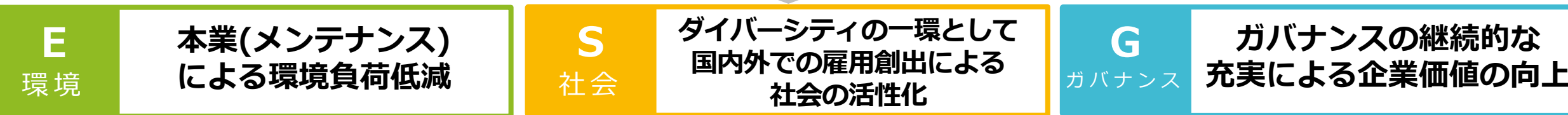
■ 2029年3月期に向けて (2020年3月期▶2024年3月期▶2029年3月期)

※「顧客」「従業員」「株主」にとっての幸せを向上させることが、社会全体の価値向上に繋がります。全てのステークホルダーの幸せ向上にも結び付くと考えております。

1	特殊な環境を有する施設に対する 高品質サービスの提供及び ワンストップサービスの強化	E	特殊な環境を有する 施設の売上高比率 70.0%▶ <b>75%</b> ▶ <b>80%</b> 以上	4	熟練技術者の養成強化	S	技術力指数 20.0pt▶ <b>20</b> pt▶ <b>22</b> pt以上
2	海外進出拠点の早期収益化 技術力及び提案力の強化による 新規顧客開拓の推進	E	海外営業利益比率 ▲2.9%▶ <b>5%</b> ▶ <b>10%</b> 以上	5	国内外での業容拡大 グローバル経営の推進	S	外国籍従業員数 148名▶ <b>150</b> 名▶ <b>200</b> 名以上
3	従業員満足度向上 「採用」「働き方」「効率化」 各種プロジェクトの推進	S	従業員満足度 65.9%▶ <b>70%</b> ▶ <b>80%</b> 以上	6	営業利益及び 1株当たり当期純利益の増加	G	EPS 54.02円▶ <b>54</b> 円▶ <b>60</b> 円以上
				7	自己資本当期純利益率の維持	G	ROE 10.8%▶ <b>10</b> %▶ <b>10</b> %以上

■ 社会全体の価値向上に繋げる

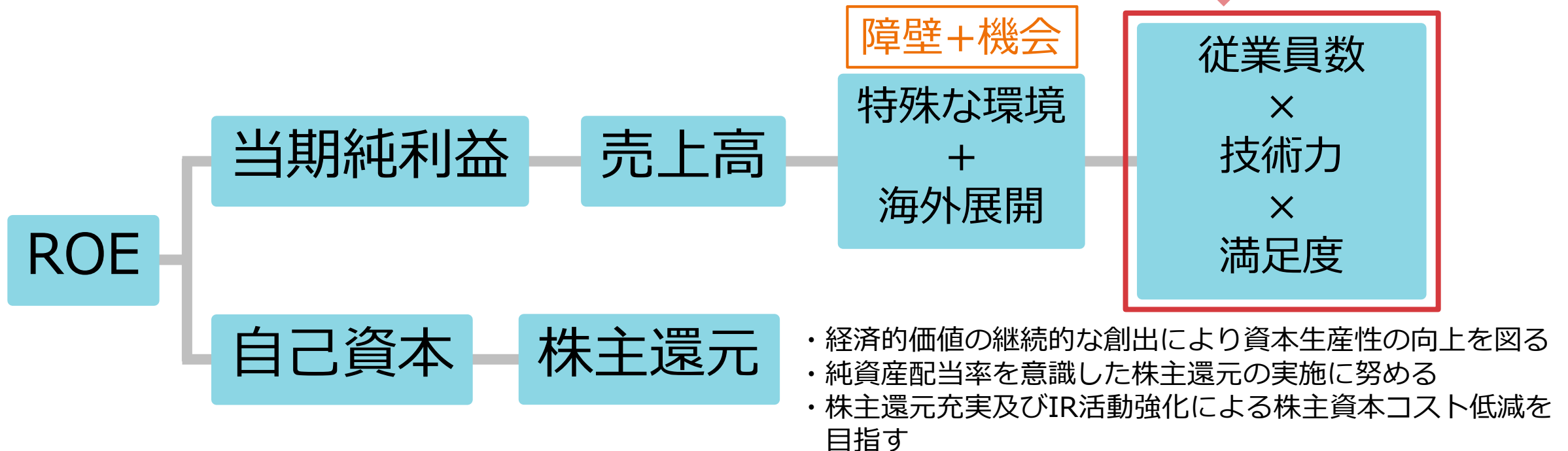
※7つの中長期的な課題は各々ESGの全てに関連しますが、特に相関が強いと考えられる項目を「E：環境」「S：社会」「G：ガバナンス」で示しております。



※特殊な環境を有する施設は「病院及び研究施設」「製造工場等」「その他の特殊な施設」を指しております。  
※技術力指数は当社の「技術系公的資格取得数×資格点数(当社基準)÷技術系従業員数」で算出しております。

※従業員満足度は当社実施の従業員満足度調査の結果を基に算出しております。  
※外国籍従業員数は当社及び海外グループ会社の日本国籍以外の従業員数を指しております。

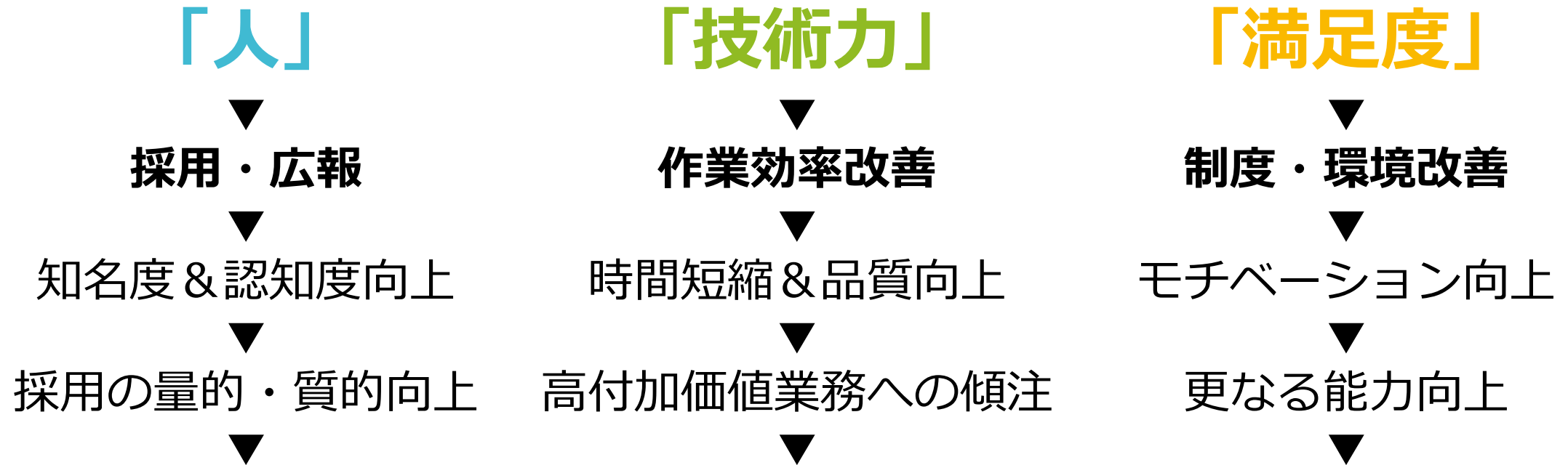
# 長期ビジョン達成に向け 最も重要なポイントは「人的資本」 の価値向上



※ROEツリー展開は当社の考え方に基づくものです。

「人的資本」の価値向上を目的とする  
3つのプロジェクトを推進

## 人的資本



未来の財務・非財務資本に繋がる

I. 日本空調グループの概要と強み

II. 2020年3月期業績ハイライト

III. 2019中期5カ年経営計画

**IV. 株式情報**

# 安定した還元の実施

配当性向：50%

ROE：10%

資本生産性を高めた上で  
配当性向50%を維持する



純資産配当率を意識した株主還元の実施

■自己資本当期純利益率 (%)

10.5 10.0 10.8 10.8

2017.3 2018.3 2019.3 2020.3

■配当性向 (%)

51.4 51.6 50.9 51.8 50.3

2017.3 2018.3 2019.3 2020.3 2021.3

■純資産配当率 (%)

5.4 5.2 5.5 5.6

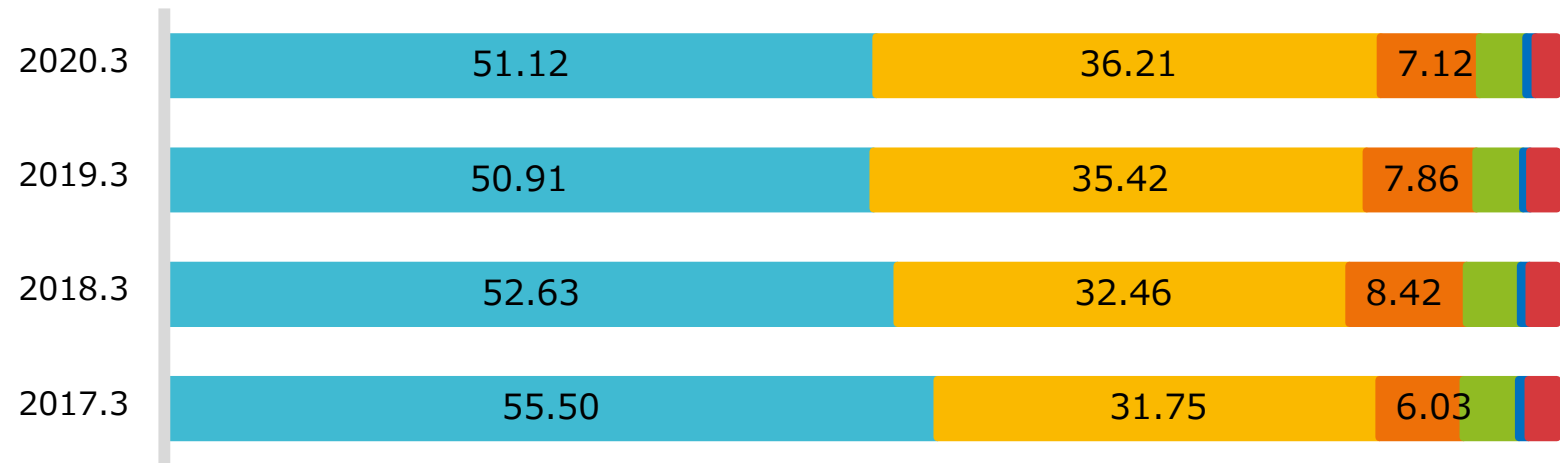
2017.3 2018.3 2019.3 2020.3



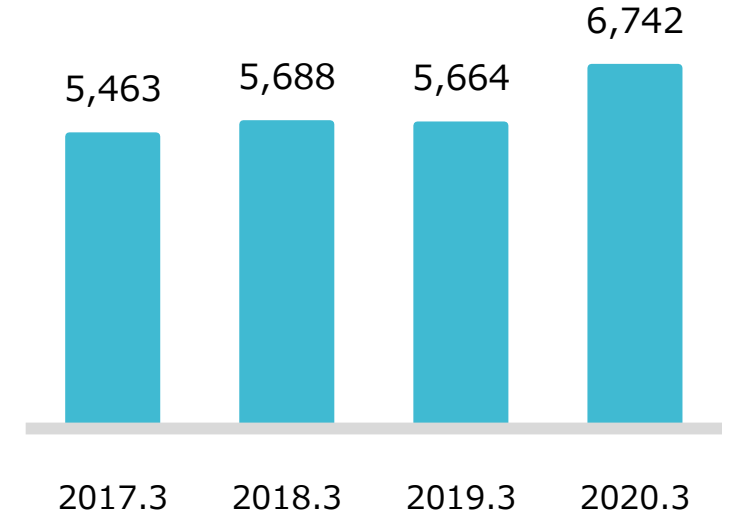


■所有者別株式分布状況 (%)

- 個人・その他
- 金融機関
- 外国法人等
- その他の法人
- 金融商品取引業者
- 自己名義株式

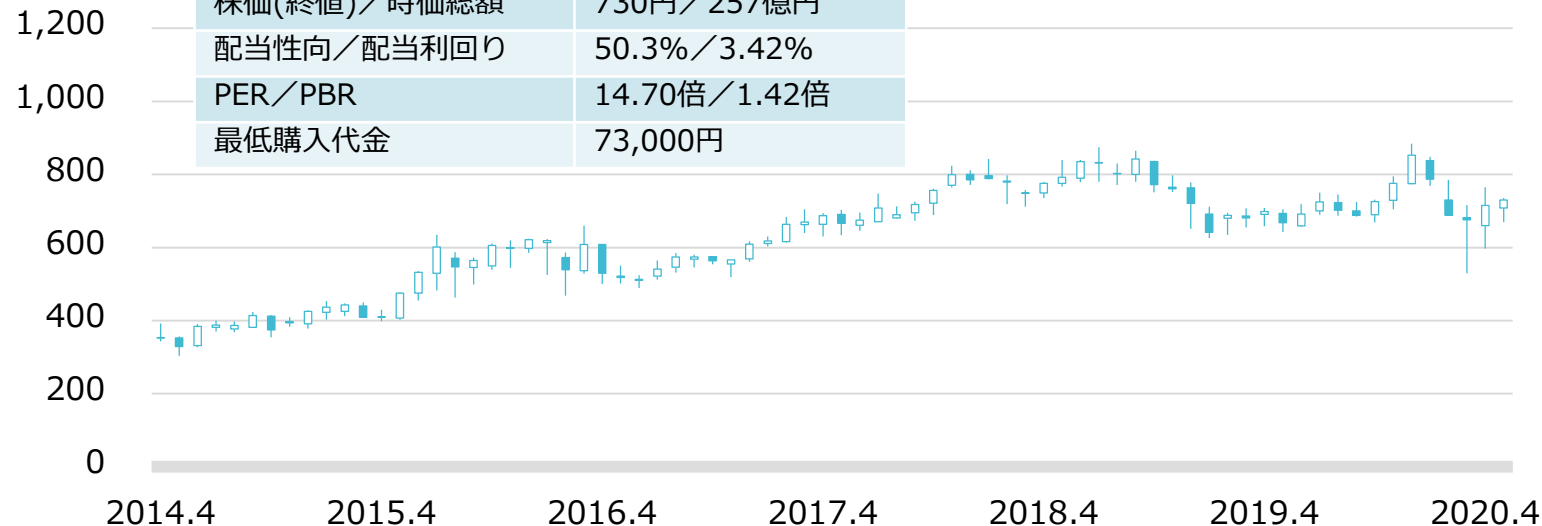


■株主数 (名)

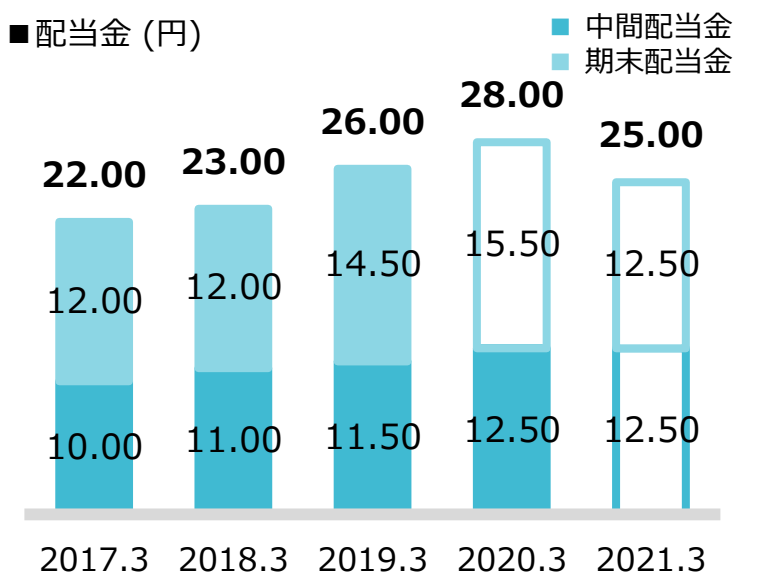


■株価 (円)

参考指標(2020年5月26日現在)	
株価(終値)／時価総額	730円／257億円
配当性向／配当利回り	50.3％／3.42％
PER／PBR	14.70倍／1.42倍
最低購入代金	73,000円



■配当金 (円)



※2016.3以前の株価及び1株当たり配当金は2014年4月1日付及び2016年4月1日付で株式分割(1:2)を実施したことによる調整をしております。

※2020.4以降のPERは2021年3月期予想EPS、PBRは2020年3月期実績BPSを使用しております。 ※配当性向及び配当利回りは2021年3月期配当予想値を使用しております。

## ①高い参入障壁をもつビジネスモデル

- ・売上高の70%以上が特殊な環境を有する施設
- ・2,502名の技術系従業員 & 47都道府県 + 海外7カ国

## ②技術力 × ソリューション力 × トータルサポート力

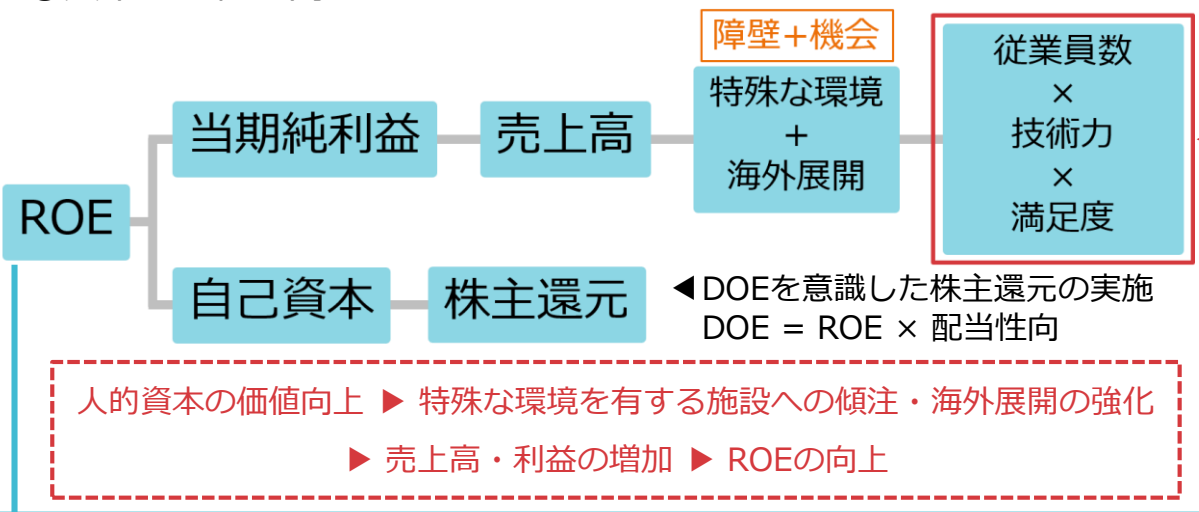
## ③安定した資本生産性と株主還元



今後の成長の鍵は「新たな商品」と「新たな市場」

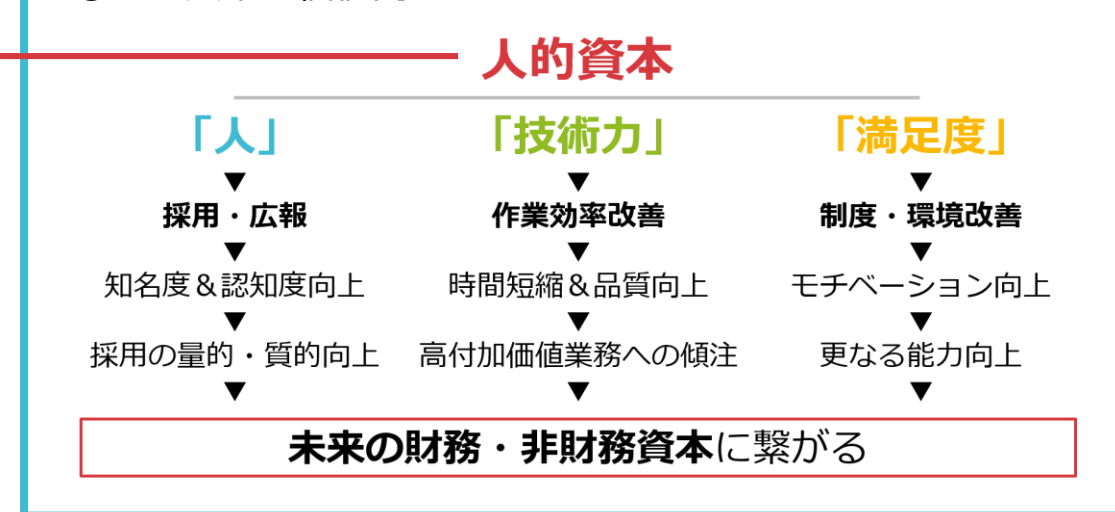
そして「人的資本」の価値向上

①資本生産性の向上

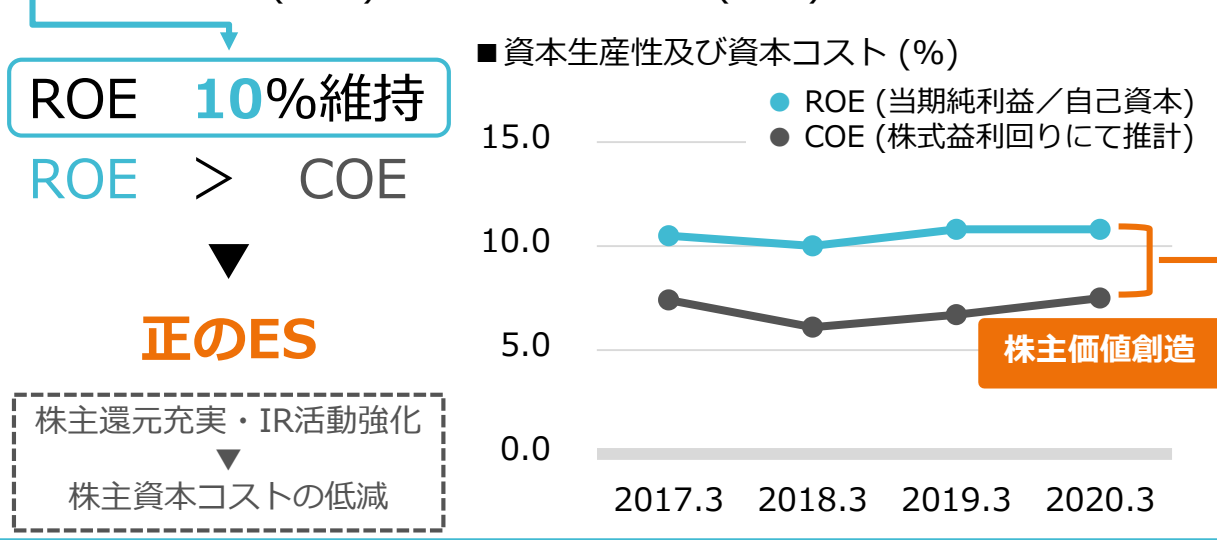


※ROEツリー展開は当社の考え方に基づくものです。 ※DOEは純資産配当率を指しております。

②人的資本の価値向上

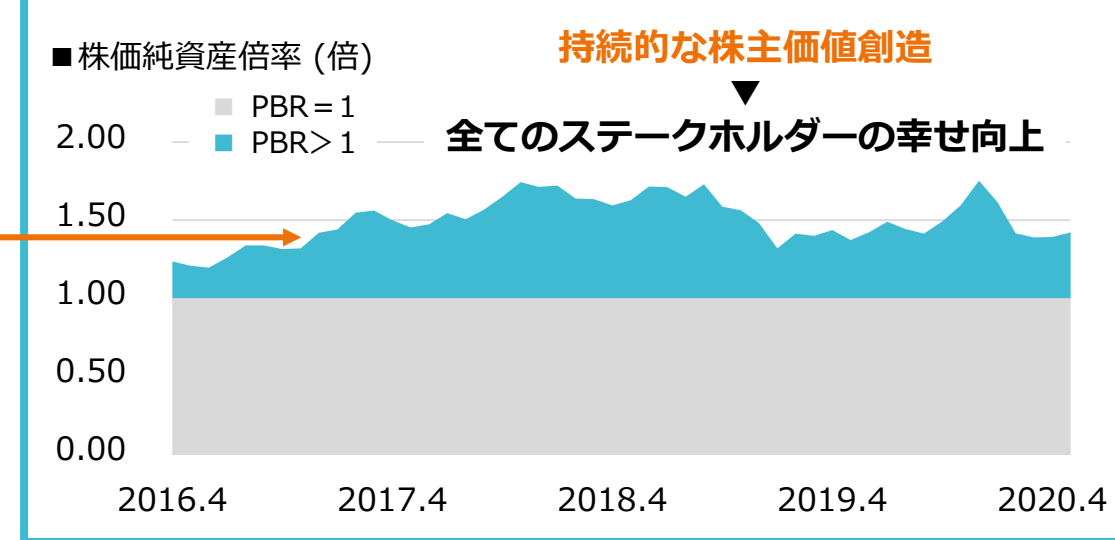


③資本コスト(COE)を上回る資本生産性(ROE)



※ESはエクイティ・スプレッドを指しております。

④人的資本の価値向上による長期ビジョンの達成



※2019.4以降のPBRは2019年3月期実績BPSを使用しております。

# ステークホルダーの皆様に

ヨロコバ  
4658れる企業を目指します

[www.nikku.co.jp](http://www.nikku.co.jp)

IR担当：経営企画部

TEL：052-773-2513 FAX：052-771-9790

E-mail：ir4658@nikku.co.jp



本資料は、日本空調サービス株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる内容の更新・修正を行う義務を負うものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に記載の数値は、全て連結で表記しております。(別途、注記がある場合を除く)

本資料は、提供されましたご本人様限りでご利用ください。本資料のいかなる部分についても一切の権利は当社に帰属しており、電子的もしくは機械的にまたはその他の方法を問わず、本資料の全部または一部を、無断で引用、複製または転送等により使用しないようお願いします。